



TENGUトート23,760円。軽くて持ちやすい! 金具を最小限に抑えるため、差し込みの革帯の形から天狗(TENGU)と呼ばれる伝統技法を留めのアクセントに。外ポケット付き。A4サイズが入る。

タウンリュック17,280円。丸みのある形が愛らしい、大人の女性に似合う小ぶりのリュック。雪をモチーフにしたロゴ入りのジャカード生地は軽やかで、美しい光沢が上質感を。大きめのファスナーで取り出しやすい。



YOSERミニバッグ29,160円。紐の長さを調節するとショルダー、斜めがけバッグ、ハンドバッグの3wayで大活躍。手触りのいい牛革をぜいたくに使い、中央のタックが女性らしい優美さを演出。フォーマルな装いにも。



イタリア人デザイナーと照明デザイナーが設計した建物。柳行李をモチーフにした照明など(豊岡らしさ)が随所に。1階のオリジナルブランドは2つ。(A&D27)は「自転車と旅」がテーマ。大人の女性向けの(ペルチエント)は長く愛用できる洗練されたデザインが魅力。

トヨタカ カバン アルチザン アベニュー

▷豊岡市中央町18-10
☎0796-22-1709 午前11時~午後6時(土・日曜、祝日は午前10時から) 水曜休 ©近隣駐車場利用
[取り寄せ]オンラインショップ<http://shop.artisan-atelier.net/>

工房や専門店が並ぶ豊岡の「カバンストリート」に、昨春新たなランドマーク「トヨタカカバンアルチザン アベニュー」が誕生した。吹き抜けになった1階のアトリエには壁一面にカバンを展示。3階のカバン職人育成専門学校からミシンや道具の音が聞こえるのも、「職人」を表す「アルチザン」の名にぴったりだ。柳行李を起源に千年以上。豊岡のカバン産業は高い品質と斬新な発想力で発展を遂げ、国産力



逸品を探しに豊岡へ行く。カバンの7割がこの町で生まれる。「他ブランドのカバンをつくるOEMの形が多く、豊岡ブランドに触れてもらえぬ機会が少なかった。ここは地元メーカーの商品がそろうほか、7社で開発した女性ブランドも好評です」とマネージャーの林健太さん。カバンを実際に手に取ると、素材の良さ、職人技の素晴らしさ、デザインの楽しさに魅了され、町やつくり手の底力を改めて思う。(自分らしさ)を表す



2F parts

2階の〈アルチザンパーツ〉。ハンドルや錠前など産地ならではの珍しいパーツを販売。革や帆布の計り売り、手づくりカバンキットも。月2回がま口づくりなどのワークショップを開催。



幸せになる、兵庫のカバン。

撮影/青木 崇 前田博史 取材・文/伊藤順子 野上知子 増田 恵 牧野しのぶ

カバンの町・豊岡で 楽しい品定め。



【アルチザンスクール】は1年制。1,600時間以上の授業でカバン職人を育成。豊岡靴協会の協力により第一線で活躍する職人の指導を受け、即戦力の技術を学ぶ実践的な内容が評判。3月卒業の第1期生は6人、第2期生は9人が入学予定。豊岡に住むことも条件。



カバンの地場産業で栄える豊岡、皮革産業が根付く姫路やたつの、手づくりやオーダーバッグの店が集まる神戸。兵庫にはたくさんの「カバンの町」があり、お出かけ心をそえられるようなステキなカバンに、身近に出合えることがとても幸せ。マイバッグを新調したくなる春、夢をいっぱい詰めた、お気に入りの一品を探しに行こう。

こちらは卒業間近の第1期生の作。夢がいっぱい詰まった、革、帆布、ナイロンを組み合わせたボディバッグと設計図。中央のファスナーを閉じると厚みが半分になる遊び心も楽しい。

※[取り寄せ]は送料がかかる場合があります。各店舗へ確認ください。

「カバンストリート」から車で約5分。昭和40年代に円山川の西側に誕生した、全国唯一のカバンの工業団地「豊岡鞆団地」へ。その地で業務用バッグを専門に手がける「バッグワークス」には、かつて鉄道の車掌さんが下げていたような「トレンマン」、真っ赤な郵便ポストを思わせる「ポストマン」など15種類の気になるカバンが。3代目高島茂広さんが「業務用カバンの機能を生かした日常使いのバツ

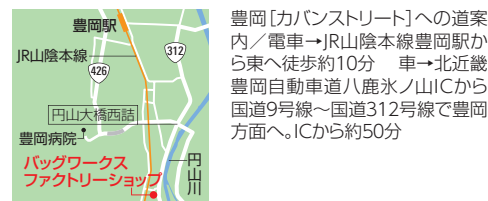
グを」と、(へしごとのかばん)をテーマにした新ブランドを4年前から展開する。銀行員の涉外カバン、入国管理局のパスポートリダー用リュック、競輪選手がホイールを持ち運ぶカバンなど、数え切れないほどのプロの仕事を支える経験を生かし、特徴をしっかりと残しながら、今の時代の空気をまとった洒落たデザインに。使い勝手も抜群！ よそにはない心弾むカバンに出合える。

バッグワークス ファクトリーショップ

▷豊岡市九日市上町767-4 ☎0796-29-3344
午前9時～午後5時 不定休 ⑤5台
[取り寄せ] オンラインショップ <http://www.nakagawa-masashichi.jp/category/1495.html>
道案内/電車→JR山陰本線豊岡駅・江原駅から全但バス、カバン団地下車徒歩約1分



工場併設のファクトリーショップではカラフルなカバンが目移りする。新ブランドの開発やショップの開店には、「直にお客さんと接してカバンを届けたい」という高島社長の思いが込められている。



豊岡「カバンストリート」への道案内/電車→JR山陰本線豊岡駅から東へ徒歩約10分 車→北近畿豊岡自動車道八鹿氷ノ山ICから国道9号線→国道312号線で豊岡方面へ。ICから約50分



足を延ばしてカバン団地へ。



ボーイスカウトマン12,000円(税別)。アメリカでボーイスカウトの少年たちが使っていたリュックを街仕様にリデザイン。サイドのファスナーで出し入れが楽。背負いベルトとリュック背面にはウレタン素材でしっかりと。

トレンマン28,000円(税別)。大きな口金は昔と同じデザインを再現。本体とベルトは使うほどに味わいが増す牛革。レトロ感を残しつつも内側は麻でナチュラルに仕上げるなどおしゃれ度高し！ 切符が入るポケットつき。



ニュースペーパーマン8,200円(税別)。ふわりと空気を含んだようなグレーの帆布生地に幅広ベルトの蛍光イエローがアクセント。1900年代のアメリカで新聞配達少年たちが使っていたカバンがモチーフ。たっぷり入る。

ポストマン9,000円(税別)。フランスの郵便配達員が使っていたカバンがヒント。昔のポストみたいなデザインのフタはスナップで開け閉めでき、雨風を防ぐ。内側にはサイズ別に封筒やハガキが仕分けできるポケットも。



それぞれの(しごとのかばん)の特徴をとらえて、ハンドメイドでカバンを仕上げる職人たち。「世界で一番ちゃんとしたかばん屋さん」がモットー。国際的な品質管理システムISO9001認証取得。



「春はコロントリがアミーの新作も」と話す荒田守さんは豊岡出身。職人歴25年の腕前で制作に励む。アトリエ前にはショールームも。

鞆工房 アトリエ 嘉玄 かげん

創業190年。昭和初期にはファイバー鞆をいち早く取り扱い、近年は時代を先取りした機能性やデザインを追求したヒット商品を生み出す「エンドー鞆」。一昨年に開店した鞆工房[嘉玄]は「和」がコンセプト。真田紐がアクセントのトートバッグ、たつの市の革を使うショルダーなど。2階の[嘉吉郎の部屋]では柳行李をはじめ先代の貴重なコレクションを。

▷豊岡市元町2-5 ☎0796-24-0039
午前10時～午後5時30分 無休 ②2台
[取り寄せ] オンラインショップ <http://shop.atelier-kagen.jp/>



写真左、岡山の帆布を使った使い勝手いいキャンバーストート(帆)シリーズは大12,800円、中11,300円、小9,800円(いずれも税別)。洗いかかった革が趣きある(洗)シリーズ、栃木レザーを使った(レガーレ)などの主力ブランドも。

ホテル名の1925は北但大震災が起こり豊岡が生まれ変わった年。お菓子のショーケースにはカバンのオブジェが。



豊岡1925

とよおかいちきゅうにいごお

「カバンの町」であると同時に、「お菓子の町」としても盛り上がる豊岡。こちらは昭和9年築の銀行をリノベーションした5室のホテルのほか、1階で地元や全国の人気スイーツを販売。多くの人が出会う駅舎をイメージし、昭和にタイムスリップしたような趣ある空間に和む。レトロなバーラーでランチやお茶を楽しむことも。

▷豊岡市中央町11-22 ☎0796-26-1925
[レストラン] 午前11時～午後6時(ラストオーダー午後5時30分) [スイーツ販売] 午前11時～午後6時 [バー] 午後5時～翌午前0時 第1木曜日 ⑧8台

カバン工房やショップが建ち並ぶ通りが「カバンストリート」。辺りをぶらり歩けば、気になるスイーツショップや文化拠点、ユニークなカバンの自販機も！ 寄り道を楽しみながら、ステキなカバンを探したい。



懐かしい香りが漂うロビーの[bar ajito]。映画館で使われていた赤いイスに座ってコーヒーやスムージー、ビールなどをのんびりと。

ゆったり186席の大ホール。「人気作家からアート系まで幅広い映画を」。演劇やコンサートもできるように舞台を設置。



豊岡劇場 | とよおかげきじょう

昭和の芝居小屋に始まり、社交ダンス場、映画館として愛された[豊岡劇場]。幼い頃から親しみ、閉館を残念に思った地元企業の[石橋設計]代表が、「新たな文化発信の拠点に」と昨年末に甦らせた。主に映画を上映する大ホールとライブやイベントを行う小ホール。ロビーのカフェバーはコーヒー1杯でも気軽に。

▷豊岡市元町10-18 ☎0796-34-6256
[カフェ] 午前10時～午後6時 [バー] 午後6時～午後11時30分 月曜日 ⑧18台 ※映画上映時間は<http://toyogeki.jp/>で確認

長田に息づく。 手づくりザック。

日帰り登山に最適な(ウォーキングW(28L))。ザックの重心を上げ、日本人の体型に沿った立体的なパターンのため、疲労感も軽減。15,120円。愛らしいイモムシ「IMOCK(イモック)」のロゴが目印。



ザックの背面クッションには風の通り道を確認し、登山中の汗による不快感を解消してくれる役割が。



革ベルトの一本締めが特徴の帆布製(クラシック(20L))。サイドはファスナー付きで、小物の出し入れがしやすい。ストックやステッキホルダー付き。10,800円。



「いまの一番人気かも」と言う(リープ)。四角フォルムの万能トートで、大きく開く口、ポケットの充実がうれしい。写真の赤と黒の糸をあわせた(mikage black×red)など全8色。18,120円。



最新作の(アルキニスト(16L))は、里山や街歩きにお薦めの小型ザック。本体の中にもファスナー付き小物入れがあり、サイドポケットにはペットボトルが入る。8,100円。



シンプルな縦長トート(コジー)。カジュアルだけど上品で、いつでもどこでも愛用したくなるちょうどいいサイズ。シリーズの横長トートもあり。写真の(kobe)など全10色。12,360円。

豊富な色・柄は工楽松右衛門ゆかりの港町や自然をイメージ。バイアス(斜め遣い)の布目がエレガントな(ヴァーサトル)。長さを調節できる持ち手は、姫路レザーを使用。写真の(etorofu)など全10色。35,100円。

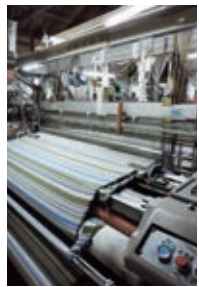


光沢のあるジャカード織りの裏地には、松右衛門帆のロゴマーク。(since 1785)と幻の帆布が発明された時が刻まれる。



高砂で復刻。 江戸時代の帆布。

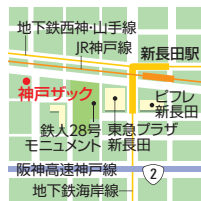
今年の新商品は多可町で先染めした綿糸を、西脇で織り、豊岡で縫製。新しい展開も楽しみ。



江戸時代後期に高砂出身の工楽松右衛門が発明し、日本の海運業を飛躍的に発展させたと言(「松右衛門帆」)。230年前の「帆布の原点」と、資料の中で出会った高砂物産協会の柿木貴智さん。「他にはない、地域ブランドに。偉大な先人の遺産を、大事に育てたい」と情熱に燃え、神戸芸術工科大学の協力を得ながら、現代に復刻させたのが2010年のことだ。綿糸を撚り合わせた(「双糸」)をたて糸に、双糸をさらに3本合わせる太い(「燃糸」)をよこ糸に、太さの違う糸で織り上げた(「0号帆布」)は、極厚の生地で丈夫。熟練の職人の手でこそ再現できるという、しなやかな手触りに驚く。まずは身近なトートバッグを商品化したところ人氣が沸騰し、2014年からはカバンの町・豊岡と連携して、多彩なバッグを開発中。播州織の先染め技術、姫路やたつの産のレザーなど地元文化も散りばめられた色とりどりの帆布鞆には、夢がいっぱい詰まっている。

ビルの2階。登山やハイキング用のザックが所狭しと並ぶのは、全国のクライマーを顧客に持つオリジナルザックの店「神戸ザック」。店主の星加弘之さんは、企業の山岳クラブに所属していた20歳代にザックづくりに興味を持ち、ザックテント縫製の名匠に弟子入り。1971年に独立し、同店を立ち上げた。「自分自身の山登りの経験を生かして、背負いやすく疲れにくい、日本人の身体に合う機能性を追究したザックをつくりたかったんです」と星加さん。店奥の工房では、デザインから裁断、縫製までの全工程をハンドメイドで仕上げる。「店はここだけ。工房があるのでお客様の注文にも対応しやすいし、同時にものづくりの現場も知ってもらって、安心感にも繋がりますから」。星加さん自らできる限り接客し、お客様の希望に添った商品を一緒に選ぶと言。あまりの使いやすさに、登山に留まらず街歩きにも人気。絶品ザックの用途は広い。

神戸ザック | 長田区



〒神戸市長田区日吉町3-1-31 カナソノビル2F
☎078-621-5851
午前10時～午後8時 日曜休、祝日は不定休 @なし
[取り寄せ] ホームページhttp://www.h2.dion.ne.jp /~kobezac/で商品確認のうえ、TEL、FAX(078-621-3528)、メール(hoshika@d6.dion.ne.jp)で注文
道案内 / 電車→JR神戸線・地下鉄西神・山手線新長田駅から南西へ徒歩約5分 車→阪神高速神戸線湊川出口から西へ約10分

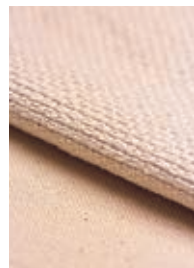


工房では、熟練の技を持つ職人たちが丁寧にミシンでザックを縫い上げる。星加さんは現在も山に登り、自作のザックを使っている。使用具合を確認すると言。

駅前観光案内所 ちり | 高砂市



〒高砂市高砂町浜田町2-2-6
☎079-443-7277 午前10時～午後7時(土・日曜、祝日は午後6時まで) 木曜休 @なし
[取り寄せ] オンラインショップ
http://www.matsuemon-ho.com/
道案内 / 電車→山陽電車高砂駅すぐ 車→加古川バイパス高砂ランプから南へ約5分 ※三宮[じばさ]e!e] 神戸国際会館SOL店、[Lulu]ピオレ姫路店、プリコ垂水店、プリコ神戸店などで販売。



下は一般的な帆布、上は松右衛門帆。風合いの違いが目瞭然。柿木さんが「こんなバッグを」と描いたスケッチを元に、豊岡の鞆職人と研鑽して生まれた多様なバッグが。

旧小学校の教室を利用した工房には、やわらかく体になじむリュックサックや持ち心地の軽い小さめポストンなど、ほっこりした表情のバッグたちが並ぶ。「革は兵庫県で加工されたものを。上質な革だと、軽くて使いやすい作品ができあがります」とmimiさん。すべてオリジナルのデザインは、手縫いのざっくりとしたステッチ使いやワン



やわらかい馬革やオイルレザーなど、作品は落ち着いた色合い。ポストンバッグ15,000円、リュックサック15,000円、ショルダーバッグ15,000円～、手提げバッグ9,000円など。



元教室の特徴をうまく生かし、既存の黒板や荷物かけをバッグのディスプレイに活用。ポーチやペンケース、ベルトなどの小物も豊富。クラフトレザー教室も開催(詳細は要問い合わせ)。

ポイントがどこかユーモラス。手に持つと丁寧加工された革の質感と、手づくりのぬくもりが伝わってくる。「最初に想像したバッグと、出来上がったバッグのイメージが違うのも楽しい出会い」と、セミオーダーのほか、パターンから作成するフルオーダーバッグの制作も受ける。懐かしい空間に和みつつ、お気に入りの品を見つけた。



篠山市の雲部地区の旧小学校を利用し、食堂やマルシェを営業する「里山工房くもべ」。その2階の一室が工房兼ショップに。靴工房など、他の作家さんも同居。

mimiさん

姫路の手づくりバッグ教室「アトリエ千異多(ちいた)」で学び、受講生のチャレンジ工房「革工房パイモ」を経て独立。出身地の高砂市に構えた工房を、2014年「里山工房くもべ」へ移転。

革工房mimi

〒658-0001 篠山市西本荘西ノ山2-1 里山工房くもべ2F
☎079-556-2570(里山工房くもべ)
午前11時～午後6時 火・水・木曜日 ④40台
[取り寄せ]なし
道案内/電車→JR福知山線篠山口駅から神姫バス、篠山営業所下車。タクシーに乗り換え約15分 車→舞鶴若狭自動車道丹南篠山口ICから県道306号線、県道702号線を経て北東へ約30分



作家がつくる やさしいカバン。

「自分が使いたいものごと気遣いが散りばめられた、作家さんの手づくりカバン。優しい使い心地から人柄まで伝わってくるよう。大切に使いたいくなる。」



写真左は、円形の底、ざっくりとしたフォルムが存在感のある丸底バッグ12,960円。写真右は、右上から時計回りに、財布 in bag12,960円。パスポートケース(レッド)6,264円。がま口ポーチ(ホワイト)5,184円。財布9,504円。左上はミニショルダー12,960円。



mokono モコノ 芦屋市

〒650-0001 芦屋市大樹町2-20
☎0797-57-0135 午前11時～午後6時(日曜は正午～午後5時) 月・木曜日 ④なし
[取り寄せ]なし
道案内/電車→JR神戸線芦屋駅から南へ徒歩約5分 車→阪神高速神戸線芦屋出口から西へ約10分



自然素材の服と手しごとの店[mokono]のスタッフでもあるetsuさん(左)。店にはオーナーの竹岡たまみさんのオリジナルシャツや、クネクネくつ下などナチュラルな素材感の服や小物が。

etsuさん

靴のインソールやアウトソールの勉強から、革小物・バッグ制作の道へ。オリジナルを制作し「mokono」で販売。各所で革小物教室も開催する。「一心に縫っている作業が好きです」。

ストンとカッティングされた革のブリーチなショルダーバッグは、長財布がすっぽり収まる実用性も兼ね備えている。ユニークな丸底バッグはシルエットが印象的。「自分で使いたいと思うような、シンプルなバッグをつくっています。長く使ってもらうと使う人に馴染んでいくのがうれしいですね」とetsuさん。足のケアの勉強を続けて

いるうち、自分が履く靴をつくるようになり、革にひかれるようになった。作家として独立して3年、手縫いのバッグやポーチなど、ベーシックで機能的な作品は、使う人によってさまざまな表情に変わっていくと好評。制作の傍ら、革小物教室も開催。「つくりたいものを思いのままに」とナチュラルな作品に優しい手触りを感じる。

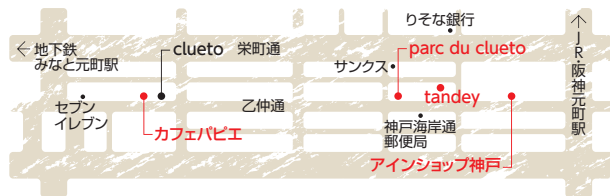


レトロなビルの2階。紙、布、革ものがあふれる宝箱みたいな楽しい店内。エコバッグはお店に入った右手にたくさん。

カフェパピエ

封緘などに使われる封蠟やペーパーアイテムの専門店。根強い人気アイテムが外国のエコバッグ。フランスやベルギーなどの百貨店や書店、レコード店のオリジナルバッグが約50種そろい、どれも独特の色使いやデザインが秀逸。また、使う込むほどに風合いが増すオリジナルの蠟引き帆布バッグも注目。

▷神戸市中央区栄町通3-2-4 和栄ビル別館2F ☎078-333-4344
正午～午後7時 水曜(祝日の場合翌日)休 @なし
[取り寄せ] オンラインショップ
<http://www.cafepapier.com/>



栄町のメインロード、乙仲通の路面店。オリジナルの多彩なファブリックでつくったポーチなどもチェックを。

アインショップ神戸

「100年経っても色あせない」をコンセプトに、生活雑貨をそろえる人気のセレクトショップ。「お買い物バッグをつくって」というお客さんの声から生まれたオリジナルトートバッグは、店で扱う商品同様、機能的で洗練されたデザインが目を引く。素材は耐久性に優れた綿帆布だから普段遣いに最適。

▷神戸市中央区栄町通1-1-5 ☎078-325-0588
午前11時～午後7時 不定休 @なし
[取り寄せ] オンラインショップ
<http://www.einshop.jp/>

フランスのスーパー[MONOPRIX(モノプリ)]のナイロン製エコバッグは、小さく畳め持ち運び便利。多彩な柄物1,760円(無地1,560円)。



イギリスの大手スーパー[TESCO(テスコ)]が、デザイナーのオーラ・カイリーとコラボしたジュートバッグ2,800円。広めのマチで収納力抜群。



封筒スタイルが可愛い蠟引き帆布バッグ10,584円。使うほどに刻み込まれる味のあるシワが魅力。ネームなどの革タグも作成できるので、一緒に付けてオリジナリティをプラスしよう。革タグは3枚つづけて1,360円。

神戸と言えば「靴の町」。それと同時に、実はバッグのお店が大充実の町でもある。特に雑貨店や職人のアトリエが並ぶ栄町は、港神戸らしい帆布バッグや、世界のエコバッグとの出会いが楽しみ。レトロなビルや路地裏も巡って宝探ししよう。

栄町への道案内 / 電車→各線元町駅から南へ徒歩、または地下鉄海岸線みなと元町駅から東へ徒歩
車→阪神高速神戸線京橋出口から西へ約5分



保冷機能が付いたロゴ入りトートバッグ1,296円。お弁当入れにいいサイズ感。キャンパスの表地で、洋服と合わせやすいのも魅力。



アトリエアインロゴトートは、外国のエコバッグのような鮮やかなカラー。大サイズ1,296円。オリジナルキャラ(エッグさん)のピンバッチ(各756円)やボールチェーン(972円)を飾っても。

ワインボトルなら2本は入る使い勝手のいい縦長トート1,026円。厚地のキャンバス生地。持ち手が長めなので肩にもかげやすい。



タンニン染めワンショルダーバッグ(S)16,800円(税別)。洗い加工でユースト感を出した生地がシンプルなフォルムにマッチ。



ワークトート(M)13,800円(税別)。定番の中にも洗練されたサイズ感が根強い人気。生地は表が9色、裏は8色から選べる。お薦めは植物のタンニン染め帆布の新品のグリーン。



マルガタート(S)13,800円(税別)。発色のいい赤が着こなしのアクセントに。持ち手と上部、底に革を合わせて上質感を。

神戸・栄町へ バッグ探訪。



ハルトート19,440円。下半分が馬革で上半分が帆布。A4サイズが入る。使うほどに色に深みが増すのも楽しみ。[クルート]で販売。



キャンプ12,960円。マチが薄くすっきりとした形が幅広い世代に人気。軽くて丈夫な倉敷帆布。ポケットが前に1つ、背面に3つ、内側に2つあるので便利。季節限定カラーにも注目。[パルクドゥクルート]で販売。

ポルタミニ16,200円。お店の代名詞。コロんとした形でたっぷり入る。持ち手は1本。しなやかな革が肩になじむ。[クルート]で販売。



栄町の路地裏に佇むお店。「選べる楽しさ」が多くのリピーターを生む秘訣。オリジナルデザインの靴も販売。

tandey

タンディ

帆布や革の手づくりバッグは、大人のおしゃれ心をくすぐるものばかり。生地や革は好きな色を選び、約1カ月半で完成するカスタムオーダースタイルが新鮮だ。「バッグを育てていく感覚で修理しながら長く愛用してもらえたらうれしいですね」と代表の中野智之さん。使い込むほどに味わい深くなる生地も魅力。

▷神戸市中央区栄町通2-1-2 ☎078-332-1134
正午～午後7時 不定休 @なし
[取り寄せ] なし



真鍮のチャームが選べるバッグも多く、鍵、つばめなど迷いそう。アンティーク家具に優しい風合いのバッグがなじむ空間。

parc du clueto

パルクドゥクルート

〈暮らしに寄り添うバッグ〉がコンセプト。最高級の倉敷帆布、栃木レザーなど上質で肌触りのよい生地を吟味し、使う人の目線でデザイン。14年目の今も「一度使うと手放せない」と好評。3月オープンの新店[クルート]は大人テイスト。カジュアルラインがそろった[パルクドゥクルート]と2つの店を巡って。

▷神戸市中央区栄町通2-2-6 和栄ビル4号館201 ☎078-391-5575
午前11時～午後7時 火曜休 @なし
※2015年3月6日に新店[clueto(クルート)]をオープン(栄町通3-2-2 和栄ビル3号館101) ☎078-381-7442。営業時間、休日同じ
[取り寄せ] オンラインショップ
<http://www.clueto.jp/>